

2026年度日系社会研修 コース概要

No	27
所管センター	九州
分野	日本文化
研修コース名	長崎の伝統芸能「龍踊」の継承と姉妹都市交流の推進による日系社会の活性化
受入人数	2
受入時期	下半期
来日日	2026年10月7日（水）
帰国日	2026年11月7日（土）
提案団体	長崎市
提案団体ウェブサイトアドレス	https://www.city.nagasaki.lg.jp/
研修員必要資格	必要資格；満21歳以上（2026年4月1日現在）
研修員に必要な実務経験年数	実務経験1年以上
研修使用言語	日本語、英語
日本語能力 （JLPT目安）	N3
英語能力	英語での資料読解、発表、レポート作成可
研修目標	・龍踊に対する考え、思いを学ぶ ・龍踊を演じるにあたり必要な龍の動き、囃子の演奏技術を学ぶ ・龍踊に必要な事前準備（稽古、手入れ）を学ぶ ・イベント等で龍踊を披露する場合の演出等を学ぶ ・長崎市とブラジル・サントス市との姉妹都市交流について学ぶ ・長崎市の平和への取組みについて学ぶ 以上の研修で龍踊に関する知識や技術を習得し、これらを担い手として県人会を含む日系社会に普及・継承することで、ブラジルにおける長崎の伝統芸能の普及・継承につながるとともに、県人会内の活性化と連帯感の造成につなげる。
期待される成果 （習得する技術）	・龍踊の実技、囃子の技術 ・龍の手入れ方法 ・長崎市とブラジル・サントス市との深い関係性への理解促進と今後の都市間交流推進への貢献
研修計画（内容）	・龍踊り、おくんちの歴史などの座学 ・龍踊り、おくんち、長崎市の歴史・文化に関係する施設の視察 ・龍踊りの実技指導（稽古、イベント参加） ・龍の手入れ等の指導 ・イベント等の運営補助 ・長崎市とブラジル・サントス市との都市間交流に関する座学 ・平和関連施設の視察
本研修実施の意義 現地日系社会への裨益効果	日本や長崎を知らない次世代の青年層の継承者が、この研修を通じ技術的なものとともに、実際に長崎を肌で感じ龍踊の300年余の伝統に触れることができれば、愛着を倍加することになり、責任を持って活動に携わるようになる。 このことにより県人会の活性化のみにとどまらず、各種イベントへの参加も増大し、日本文化のアピールにもなり日系社会そしてブラジル社会への寄与も大きくなる。 混沌とした世相の中、今ブラジルで求められている規律や習慣の正統なる日本の文化を、龍踊を通じしよって立つ意識の芽生えも期待される。 あわせて、現在のところ見様見真似で行っている龍踊の演技の基本をもう一度確認する事はこれからの発展に欠かせないものであり、補修の技術的な技と補修材料に接する機会は、百聞は一見に如かずで、当地での立て替え材料などの選定も容易になると考えられる。 さらに、長崎市とサントス市の姉妹都市交流についても、この研修を通じて参加者が両都市間の友好交流へのキーパーソンの一人になることが期待される。
応募希望者への特記事項	英語ができなくても日本語ができれば可。 本市では受入期間中週に3回日本語講座を開講しているため、日本語学習において継続的なサポートが可能。